

委 員 会 報 告

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会

各常任委員会では、開会中の6月定例会で付託になった議案・陳情について審査を行いました。

総務常任委員会

(吉村幸治委員長)

☆過疎地域自立促進計画の変更

問 パークゴルフ場・フラワーパーク整備事業は総体で何億円を考えているか。

答 平成23年度から25年度までの10億6千万円ほどを計画に計上しているが、26年度は今のところ未定である。今後、場所が決まり次第、綿密な設計で細かい事業費を策定できると思っている。

問 市道等の改良については、地元説明会を実施しているのか。

答 実施設計ができた段階で地元説明会をしている。

問 空き家活用促進事業の具体的な内容は。

答 住める空き家か、住めない空き家かを確定し所有者の了解をもたせて内部の状況等の調査を行ない、購入したい方や借りたい方の希望があれば情報を提供して定住促進につなげていく。

☆辺地に係る公共的施設の総合整備計画

大隅町恒吉辺地（市道神牟礼・沖上線と須田木線の2路線）

問 辺地の対象範囲はどうか。

答 地域の中心を含む5km以内の面積の区域の人口が50人以上の要件がある。



大隅町恒吉辺地（上須田木橋）



消防センター建設予定地（大隅町東桜ヶ丘）

☆平成23年度曾於市一般会計予算の補正(所管分)

問 消防センターの訓練棟申請手数料は、建築確認とは別に納めなければならぬ県の条例等があるのか。

答 県の建築確認申請の折に、県から証紙を買い貼付して提出する。これは姉歯事件以後、ある一定の構造物以上

については、第三者機関（指定構造計算適合性判断機関）に監視、設計審査をしてもらうための手数料である。

問 地デジ視聴支援用チューナー購入とは。

答 今回、市で支援用としてチューナーを20台予算化したが、別にコールセンターより支援用として13台ある。

文教厚生常任委員会

(原田賢一郎委員長)

☆所管事務調査

(調査事項)

・特別支援教育支援員配置事業

平成23年度において教育支援員(計8名)が配置されている市内7校のうち5校(財部小学校・末吉小学校・月野小学校・岩川小学校・大隅中学校)について調査を行いました。

この制度は、教育上、特別の支援を必要とする児童生徒に対して、教員免許をもった支援員がサポートし、個々に応じた教育を行うことで特別支援教育の充実を図るものである。

各学校では、支援が必要とされている児童生徒数に差があり、また特別支援学級の設置状況や学校運営の違いもあるが、それぞれの

学校において実態にあった支援員の活用が図られていた。

教育現場からは、「子どもたちの行動に落ち着きが出てきた」「支援員が心のより所的な役割も果たしている」などの声もあがっている。

今回の調査では、教育現場における特別支援制度について

●市としての基本的な方針をしっかりとって取り組み、その中で独自性を発揮していく必要がある。

●小学校から中学校への支援の継続性は十分とられているか詳細な分析が必要である。

などの意見があり、今後とも特別支援教育の更なる充実を図るよう求めるものである。

☆平成23年度一般会計予算の補正(所管分)

問 子ども手当費509万5千円の減額は。

答 3歳未満の一人当たりの支給額を当初予算で2万円計上していたが、国の一次補正により1万3千円に引き下げることに伴う4月以降分の減額である。

問 災害時要援護者管理システムとは。

答 災害発生時などに障害者や要介護者、及びひとり暮らしの高齢者等援護が必要な方々を把握し、迅速かつ確実に情報伝達を行う体制づくりのため導入されるもので、要援護者台帳等をもとに非常時の安否確認までの業務をトータル的にサポートするシステムである。



特別支援教育の充実を図ります



公民館運営による諏訪児童クラブ

問 母子家庭等就労支援対策事業の周知について

答 母子家庭の母親が就職に有利な資格(看護師等)を取得するための支援であり、今後、対象者への積極的な啓発を図っていきたい。

問 放課後子ども教室推進事業の増額について

答 児童クラブが実施されていない地域を中心に教室が設置されており、今回新たに柳迫地区で実施されるものである。

建設経済常任委員会

(大川原主税委員長)

☆所管事務調査

・曾於中央家畜市場 (調査事項)

平成23年度曾於市春季畜産品評会が旧町ごとに開催され、それぞれの部門から12頭ずつ、曾於市代表として36頭が平成23年4月15日の曾於地区春季畜産共進会に出品された。曾於地区内より96頭の肉用牛で、午前中に各部門全頭の測尺、個体審査、4部については個体審査



曾於地区春季畜産共進会
(大隅町八合原)

比較審査が行われた。

結果、最優秀賞28頭、優秀賞7頭が決定され、本市代表が各部門で最優秀賞1席に決定しました。曾於市の畜産振興に一段と名声が高められたところですが、昨年宮崎県を中心に発生した家畜伝染病口蹄疫の侵入阻止を市民上げて取組んだ成果だと確信するものであり、秋の県共進会に向けて、関係者が一体となり更に努力されることを期待します。

☆曾於市有住宅条例及び曾於市教職員住宅条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、教職員住宅1棟に入居者がいないため教育委員会から建設課に市有住宅として移管するものである。

☆平成23年度曾於市一般会計予算の補正(所管分)

問 観光案内板は、どこに設置するのか。

答 曾於弥五郎インターの近くのたばこ育苗施設の壁面をバックにして、幅10m高さ4mの大型のものを設置する。

問 戦略作物とは何か。
答 大豆、麦、そば、菜種、加工用米、飼料用米、飼料用稲、飼料作物等である。

問 市有、市営住宅の申込み状況は。

答 末吉では、申請件数37件、空き家が市営住宅は6戸で抽選待ちである。大隅が2名申請しており空き家は22戸あるが震災用として7戸確保してあるのので、実質は15戸の空き家がある。財部については、申請件数42件で空きはゼロである。

問 地域振興住宅各団地の建築予定地は。

答 柳迫については、23年から27年の5年計画で進めていく。沢田団地については、6棟のスペースがあるが、今回4名の申し込みがあり今年4棟建てる。馬立に、2棟建設、月野地区についても2棟建設予定である。



柳迫地域振興住宅 配置計画図

☆平成23年度曾於市公共下水道事業特別会計予算の補正

今回の補正は、下水道研修会負担金の新年度負担金改定に伴う差額補正と、人事異動等に伴う職員給の追加が主なものであります。

☆平成23年度曾於市水道事業特別会計予算の補正

国営畑かんパイプライン工事に伴う末吉簡易水道事業柳迫地区、内村地区の水道管布設替工事の追加であります。